

(一社)南房総市観光協会 令和8年度第4回 理事会 議事録概要

■令和8年度第4回 理事会

- **日時**：令和8(2026)年10月7日(水)
14:00～15:15
- **場所**：とみうら元気倶楽部 多目的室3・4
(南房総市富浦町原岡88-2)



■出欠席数

- **役員総数**：理事 29名、監事 2名
- **出席理事数**：22名
川名三雄、鈴木洋一、峯隆司、沖野友則、堀江洋一、小澤行則、山口恵子、榎本福太郎、牧野寿彦、笹子全宏、吉野健太郎、今野雄治、三浦太、長島富郎、光崎俊彦、大川浩司、川崎裕美、青木敏夫、神保清司、小澤紳一、芳賀裕、高木洋明
- **欠席理事数**：7名
栗原和之、永森昌志、竹場真美子、高尾貴行、櫛原八千代、児玉秀一、鈴木健史
- **出席監事数**：1名
小笠原砂男
- **欠席監事数**：1名
小川雄一
- **委任状**：4名
鈴木健史、栗原和之、竹場真美子、櫛原八千代

(一社)南房総市観光協会 令和8年度第4回 理事会 議事録概要

■協議

1) DMO更新手続き等について

●事務局より、資料に基づき説明を行った。7月末に事業年度末の報告書を観光庁に提出した旨、また10/23にDMOの更新が控えている旨を説明。今回の更新は旧ガイドラインに沿ったものだが、新ガイドラインを全くやらない訳ではない事を説明した。また、会議の議事録及び写真撮影を行い、今後公開する旨や、理事会の役割などを説明した。7月末～8月中に実施したアンケート結果について説明を行った。地域内調達が72.5%だったが、今回の調査で見える化を図ったことで、今後、この数値の精度を高めていく取り組みが必要である旨を説明した。雇用状況については235万円だった旨を説明した。また、次の2029年の更新の際には、持続可能な観光ガイドラインについての取り組みは必須になる旨を説明。更新が終了後、情報収集に努める旨を伝えた。最後に、市民満足度調査を12月、1月で実施したい旨を説明した。

【川名会長】

「取ったデータを、どう分かりやすく伝えるかが必要ではないか？」との指摘があった。また、部会活動については、各理事の皆様アンケートを実施し、「どこの部会に所属したいか？」について意見を伺いたい旨を説明した。

部会（案）について

二次交通、着地型連携、サステナブル、サマーコンテンツ、MICE、戦略的広報PR、エデュケーション、道の駅と観光施設の連携、AI活用、オンライン会議の推進、組織変革

2) みねおか地区の星空観察について

●芳賀理事より、資料に基づき説明が行われた。千葉県内に天文台が無いが、47都道府県で唯一。災害時には拠点になることから検討して欲しい。星空観察は、単に星を見る事が目的ではない。スマホやタブレットを使って、星の一生を見る体験をする。専門部会を設立する事を希望する。白浜には、カノープスの伝説があるが、鴨川にも伝説がある。